

平成29年度事業経過報告
自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

平成29年度の事業活動は、前年度の通常総会において承認されました諸事業の遂行に努め、保安の確保と取引の適正化等定款の目的に沿った事業を着実に推進して参りました。

継続事業としては、(一社)全国LPガス協会主催の『LPガス安全応援推進運動“全てはお客様のために”』を実施致しました。

重大事故ゼロ、CO中毒事故件数ゼロを全国目標として、東京都では独自に自主保安活動チェックシートの活用による自己診断、業務用施設における事故防止対策、住宅における不完全燃焼防止装置付機器の交換促進や注意喚起、ガス栓カバーの設置、供給機器の期限管理の徹底、ガス放出防止型高圧ホース・ガス放出防止器の設置など推進して参りました。

その結果、平成29年都内で発生したLPガス事故件数は平成28年と同様の7件となっております。

また、競合エネルギー対策として一都三県LPガス協会では代表者会議、役員会議、対策委員会など開催し、都市ガス転換に関する契約内容についても協議を重ねて参りました。

お客様相談所事業では、相談件数は年々減少傾向でしたがLPガス放置容器等の回収処理や質量販売事業者の紹介等により、相談件数は増加に転じております。

これによりお客様相談窓口寄せられる相談及び苦情等の処理件数は、390件と神奈川県に続き2番目に多く相談が寄せられております。

一方、例年実施している協会主催の東京都中核充填所の防災訓練では、中核充填所、一般充填所、販売事業所約60人が参加しました。訓練は、集合前の朝7時に協会がMCA無線機で一斉送信を行い、その後訓練参加者が返信をする通信訓練を実施。さらに訓練会場では協会独自の防災体制により中央本部、地対本部、販売会員の支部が連携してMCA無線機により被災情報の報告を行う伝達訓練及び他系列容器の充填訓練など行い、一定の成果を得ることができました。

なお46回目を予定していた高圧ガス防災訓練は、雨天の為初めての中止となりました。今後は、訓練会場の選定や開催時期をよく検討し、東京都及び東京都高圧ガス地域防災協議会で諮って参ります。

平成28年度通常総会で承認を頂きました特別会費につきまして、全会員事業者から積立金を集める事ができ、会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

最後に取引の適正化でございますが、国のアンケート結果では料金の公表をされる事業者が増加しており、料金の透明化は進んでいると考えます。

各事業の具体的な実施状況は以下に列記する通りです。